

製品への取り組み

お客様へ環境負荷の少ない製品・サービスを提供するため、お取引先とともにグリーン調達に取り組んでいます。

「環境行動計画」への取り組み

エネルギー／資源循環性向上の追求

「富士通フロンテックグループ第11期環境行動計画」(2023～2025年度)では、気候変動への対応の一つとして「製品使用時消費電力によるCO₂排出量の削減」に継続して取り組んでいます。

また、資源循環に貢献する施策の一つとして、従来の3R設計に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ部品・ユニットの在庫を有効活用するサービスの提供などを通じて負荷価値を生み出す「サーキュラーエコノミー型ビジネスに資する製品・サービスの開発」の目標を設定取り組みを開始し、2023年度は対象案件の選定を実施しました。

製品紹介

洗練されたデザインと、様々な設置レイアウトに対応できる柔軟性を両立したオールインワンスタイルPOS「TeamPoS8000モデルA200」

本体とLCDが一体となったスタイリッシュなオールインワンPOSです。本体の別置きが不要となり、省スペースでの設置が可能です。

従来機種と比較し、ベーススタンドの設置面積を約30%縮小するとともに、高さを抑えたコンパクト設計によって、来店客との対面性を向上。加えて、スリムなLCDベゼルにより、高いデザイン性と本体のコンパクト化も実現。

また、TDP（熱設計電力）を従来機比で約71%削減を実現したCPUやLEDバックライト仕様のLCDの採用や、カスタマーディスプレイの蛍光表示管タイプからLCDタイプへの変更による優れた省電力設計を行っています。



TeamPoS8000モデルA200

当製品がSDGsに貢献する要素(例)



12 つくも責任
つかう責任
本体とLCDを一体化することにより、製品への資源投入量を削減。



13 気候変動に
具体的な対策を
低消費電力CPUやLEDバックライト仕様のLCDの採用により、製品使用時のCO₂排出量を削減。

グリーン調達

富士通グループでは、環境に配慮した部品・材料や製品の調達に関する基本的な考え方を「富士通グループグリーン調達基準」としてまとめ、国内外のお取引先とともにグリーン調達活動を推進しております。

2023年度は、CSR調達の強化および「第11期環境行動計画」推進のため、富士通株式会社が主催の主要なお取引先への大規模なアンケート調査を実施し、受領したアンケートへの回答結果に基づき、個々のお取引先にフォーカスした分析を行い、お取引先へ分析結果をフィードバックしました。今回、共通的な事項だけでなく、お取引先それぞれが抱える問題点などへも言及することで、きめ細かな対応を行うことができました。

含有化学物質管理

含有化学物質管理システムの構築

製品の部材系調達にかかわるお取引先には、化学物質を適正に管理していただくため、JAMP*1が業界標準として定める「製品含有化学物質管理ガイドライン」に基づく含有化学物質管理システム（CMS*2）の構築をお願いし、サプライチェーンにおける製品含有化学物質の管理を継続推進しています。

*1：JAMP/アーティクルマネジメント推進協会 (Joint Article Management Promotion-consortium)

*2：CMS/製品含有化学物質管理システム (Chemical substances Management System)

含有化学物質情報の取得

法規制を順守し含有規制物質による人の健康への悪影響や、環境汚染を未然に防止することを目的に、お取引先のご協力の下JAMPが運用する情報伝達スキームchemSHERPA*3などにより製品の含有化学物質情報を調査し、取得情報は社内システムにて共有しています。

*3：Chemical information SHaring and Exchange under Reporting Partnership in supply chainの略称で「製品含有化学物質情報伝達の共通スキーム」の意。

お取引先とのコミュニケーション

2023年度は、4年ぶりに対面での「お取引先懇親会」を開催し、当社グループの事業方針と調達方針についてお取引先に説明させていただきました。また、当社の事業活動に対して顕著な貢献をいただいたお取引先に対し、感謝状と記念品を直接贈呈するなど、当社役員をはじめ従業員とお取引先との久しぶりの対面が実現し、有意義な会となりました。



懇親会の様子